

WHO手指衛生セミナーを開催しました!

～手指衛生はCDCからWHOへ、どう変わったのか～

2013年11月16日(土)午後、当院にて、「医療関連感染防止 mini セミナー in 札幌」を開催しました。

講師の市川先生(新潟県立六日町病院 麻酔科)はWHO から翻訳を日本人で唯一許可されている方で、WHO の手指衛生を日本中に広めようと各地で講演し普及に努められています。

もう一人の講師である久留野先生(奈良県立医科大学大学院)は現場の具体的な直接観察法と順守率の求め方について解説され、「やっと理解できた!」「すっきりした!」などの感想が寄せられました。

札幌の当セミナーでは、26施設、62名が参加され、セミナー後のアンケート「今回の会はあなたの行動に変化を起こすと思われますか?」の問いに全員が「はい」と回答され、今後各施設で啓発、普及されていくことと思われます。当院でもこれから学習会・自己評価の実施・観察者の育成などを計画します。



久留野紀子先生



市川高夫先生



WHO手指衛生プログラムの「3つのドメイン(領域)」

WHO 多様性手指衛生改善戦略の5つの構成要素

医療における手指衛生の5つの瞬間

- 1a. 組織変革 — ケアの現場での擦式アルコール製剤
- +
- 1b. 組織変革 — 安全な継続的な上水道、石けんとタオルの利便
- +
- 2. トレーニングと教育
- +
- 3. 評価とフィードバック
- +
- 4. 現場でのリマインダー
- +
- 5. 組織安全文化

+



+

段階的アプローチ

